

令和4年度 大津市介護人材確保連携会議 次第

日時：令和5年3月9日（木）

午前9時30分～

場所：市民文化会館多目的ホール

1 開 会

2 あいさつ

3 議 事

(1) 令和4年度介護人材確保事業の進捗について

(2) 令和5年度介護人材確保事業について

4 連絡事項

5 その他

令和4年度 介護人材確保事業の進捗状況について

介護サービス事業所や介護保険施設の整備に伴い、介護人材の確保が全国的な課題となっていることから、第8期大津市高齢者福祉計画・介護保険事業計画における取組のひとつとして介護人材の確保を位置づけ、令和3年度から市独自の事業に取り組んでいる。介護人材の確保には、即効性のある施策はなく、市独自の事業を地道に継続していくことが必要であり、ひとつに絞らず多様な施策を展開していくことが重要と考えている。令和4年度は、前年度の事業を継続することに加えて、新たな事業を実施するなど、さらに事業を拡大して推進してきた。

< 事業概要 >

1 おおつ介護事業所オンラインセミナー（令和3年度から継続事業）

(1) 目的

介護職員の人材育成や業務の改善につながる知識が修得できる専門家のセミナーをオンライン形式で実施し、働きやすい職場づくりや職員のスキルアップを促進することにより、介護職員の職場への定着につなげることを目的とする。

(2) 実施状況

① 令和3年度

	開催日	内容	参加者数
1	令和3年10月18日(月)	コミュニケーションスキル・接遇向上	36名
2	令和3年11月25日(木)	メンタルヘルス	25名
3	令和3年12月21日(火)	外国人介護人材基礎知識1	10名
4	令和4年1月21日(金)	外国人介護人材基礎知識2	7名
5	令和4年2月24日(木)	チームマネジメント	43名
6	令和4年3月23日(水)	労働規約、就業規則等のルール作り	21名
※時間はいずれも13:40~15:40			142名

(平均24名)

② 令和4年度

	開催日	内容	参加者数
1	令和4年6月28日(火)	報・連・相と介護記録の正しい書き方	49名
2	令和4年7月26日(火)	認知症の基礎的理解と利用者・家族への対応	40名
3	令和4年8月25日(木)	ストレスへの耐性を身につける方法	34名
4	令和4年9月28日(水)	介護事業所での看取りについて	31名
5	令和4年10月27日(木)	人を育てる研修計画の策定	36名
6	令和4年11月18日(金)	介護事業所のICTの導入について	41名
※時間はいずれも13:40~15:40			231名

(平均39名)

(3) 事業の評価

令和3年度の事業実施後の事業所アンケートを踏まえて、希望の多かった内容を中心に令和4年度の内容をプログラムしたことで、参加者数の増加につながったと思われる。事業所における新型コロナウイルス感染症対応もあり、オンラインによる実施方式を評価する声が多かった。

(4) 今後の方向性

令和5年度については、継続してオンラインセミナーを実施していくこととするが、テーマ選定にあたっては、介護現場が望む実務に近い内容となるよう、アンケート結果等を反映することや、国の動向等も踏まえて検討していくこととしたい。



おおつ介護事業所 オンラインセミナー (全6回)

介護に対するニーズが多様化する中、介護職員の資質向上と人材の確保が求められています。本セミナーでは、人材育成や業務改善のヒントなどの業務に役立つ内容で、職員のスキルアップや職場への定着をお手伝いします。

実施方法および注意事項

受講料・資料代 無料

事前予約 不要

*使用アプリ：Webex

*大津市事業所・施設整備室より、開催1週間前までにセミナーへのリンクURL・ミーティング番号・ミーティングパスワードを一斉送信します。裏面の【注意事項および禁止事項】に同意のうえご参加ください。ご参加いただいた事業所は、同意していただいたものと判断させていただきます。ご了承ください。

開催時間：13：40～15：40（6回共通）

回	開催日・対象	内 容	講 師
1	6月28日(火) 対象：全介護職員	報連相と介護記録の正しい書き方 ◆例えば、開示請求に対応できる記録かどうかなど、報告する側だけでなく、する側・される側の双方が正しい知識を持つことが大切です。事業所として統一した考えで取り組みましょう。	岡本匡弘氏 京都保育福祉専門学院 副学院長 介護福祉士、社会福祉士、滋賀支部委嘱コンサルタント（雇用管理・人材育成・ヘルス）
2	7月26日(火) 対象：全介護職員	認知症の基礎的理解と利用者・家族への対応 ◆認知症の症状や特徴を正しく理解し、利用者の立場にたった適切なケアを身につけましょう。	辻 智典氏 一般社団法人愛生会 介護老人保健施設おおやけの里 管理部次長 介護福祉士、社会福祉士、滋賀支部委嘱コンサルタント（雇用管理・人材育成・ヘルス）
3	8月25日(木) 対象：管理者 リーダー	ストレスへの耐性を身につける方法 ◆何かとストレスの多い管理者やリーダーが、ストレスでつぶれないために、回復力や耐性をアップさせる方法を学びましょう。	山田真由子氏 山田真由子事務所 代表 特定社会保険労務士、滋賀支部委嘱コンサルタント（雇用管理・人材育成・ヘルス）
4	9月28日(水) 対象：全介護職員	介護事業所での看取りについて ◆利用者の尊厳を守り、その人らしく生き最期を迎えていただくために、事業所として何が出来るかを考えましょう。	大竹要生氏 医療法人社団弓削メディカルクリニック 医師
5	10月27日(木) 対象：管理者 リーダー	人を育てる研修計画の策定 ◆研修をすれば人が育つわけではありません。人が育つ効果的な研修のノウハウを学び、次年度の研修計画につなげましょう。	辻 智典氏 一般社団法人愛生会 介護老人保健施設おおやけの里 管理部次長 介護福祉士、社会福祉士、滋賀支部委嘱コンサルタント（雇用管理・人材育成・ヘルス）
6	11月18日(金) 対象：管理者 リーダー	介護事業所のICTの導入について ◆ICTの基礎知識と、失敗しない導入方法について学びます。	竹下康平氏 株式会社ビーブリッド 代表 日本ケアテック協会専務理事・事務局長、滋賀支部委嘱コンサルタント（雇用管理）

2 おおつ介護に関する入門的研修（令和3年度から継続事業）

（1）目的

介護に関わりがなかった人や介護の未経験者が、介護に関する基本的な知識を身につけるとともに、基本的な技術を学ぶことができる介護入門的研修（基礎講座）を開催し、介護分野への関心を高め、介護に取り組む不安を取り除くことにより、介護分野への参入のきっかけや、多様な人材の参入促進につなげることを目的とする。

（内容：基礎講座「介護に関する基礎知識」「介護の基本」各1.5時間）

（2）実施状況

① 令和3年度（定員20名）

	エリア	開催日	会場	参加者数
1	中部	令和4年1月11日（火）	市役所別館大会議室	18名
2	北部	令和4年1月16日（日）	北部地域文化センター	26名
3	南部	令和4年2月13日（日）	生涯学習センター	28名
4	南部	令和4年2月26日（土）	生涯学習センター	29名
5	北部	令和4年3月5日（土）	北部地域文化センター	22名
6	中部	令和4年3月8日（火）	市役所別館大会議室	27名
※時間はいずれも13:00~17:00				150名

② 令和4年度（定員30名）

	エリア	開催日	会場	参加者数
1	南部	令和4年6月30日（木）	生涯学習センター	32名
2	中部	令和4年7月21日（木）	市民文化会館	25名
3	北部	令和4年8月27日（土）	北部地域文化センター	22名
4	北部	令和4年11月19日（土）	北部地域文化センター	3名
5	中部	令和4年12月11日（日）	市役所別館大会議室	19名
6	南部	令和5年1月28日（土）	生涯学習センター	13名
※時間はいずれも13:00~17:00				114名

講義後には、滋賀県介護・福祉人材センター（県内唯一の厚生労働省の許可を得た介護・福祉専門の無料職業紹介所）の協力を仰ぎ、介護分野への就労支援情報等を受講者に案内し、同センターの資料請求や人材登録につながっている。

（3）事業の評価

アンケート結果によると「家族の介護のため」「介護の仕事に興味がある」「自分の将来のため」など受講の動機は多岐にわたるが、受講者から「介護保険制度や大津市の介護サービスについて理解できた」「現場で仕事をされている講師の話は説得力があり、介護に対する思いが伝わった」といった声が寄せられている。

参加者数は、実施日によって増減があり、エリアでの開催間隔、実施時期、土日平日の割合、当日の欠席者数などを検証して、次年度の日程や応募要領を定めていきたい。

現時点の集計であるが、参加者で、「介護の仕事をしたと思った方」が22名、滋賀県介護・福祉人材センターへの求人登録の希望者が5名、同センターの資料送付の希望者が45名おられたことから、介護業界での就職を考えるひとつのきっかけとなっている。

(4) 今後の方向性

裾野を広げていくということからも、継続的に実施していくが、参加者からは、今回の受講を機に、さらに「ステップアップしたい」、「入門的研修をすべて受講したい」という要望もあり、これまで同じ内容を6回開催していたが、次年度は2本立てとして、基礎講座の開催と並行して、入門的研修資格が取得できる内容の講座を新たに開催し、より介護の仕事を意識して、就職につながる内容となるように検討していきたい。

受講料 無料

昨年度好評につき、今年度も開催!




大津市委託事業
カリキュラムを修了された方には、大津市長名の修了証をお渡しします。

入門的研修[基礎講座]のご案内

介護のお仕事に興味のある方、
自分の将来や大切な家族のために
介護について知りたい方、

介護のしくみが良く分かる
「基礎講座」で、
一緒に学びませんか?

For Beginner

◆◆ 下記の中からお都合の良い会場・日時を1日お選びください ◆◆

会場	生涯学習センター 4階 視聴覚室 <small>大津市本丸町6-50 京阪膳所本町駅より徒歩約7分 JR膳所駅より徒歩約20分</small>	市民文化会館 多目的ホール <small>大津市御陵町2-3 京阪大津市役所前駅より徒歩約5分 JR大津京駅より徒歩約15分</small>	北部地域文化センター ホール <small>大津市聖田二丁目1-11 JR聖田駅より徒歩約15分 聖田駅前より江若/CS 聖田町内循環「仰木道」、県庁前・大津駅行「仰木道」下車徒歩約3分</small>
日時	令和4年6月30日(木)	令和4年7月21日(木)	令和4年8月27日(土)
	全日共通 13:00~17:00 (受付12:30より)		
定員	各日 30名 (定員になり次第締め切ります)		
対象	介護分野への就労または介護の実践に興味・関心のある方で、市内在住・在勤の18歳以上の方ならどなたでも参加できます		

◆◆ 下記①②③のいずれかの方法で、滋賀支部までお申し込みください ◆◆

①裏面の申込書をFAX⇒077-527-2039

②メール⇒shiga@kaigo-center.or.jp

- 件名:大津市入門的研修
- 本文:①希望日・会場名、②氏名、③生年月日
- ④住所、⑤昼間に連絡が取れる電話番号
- ⑥福祉職の経験の有無

③往復はがき⇒

〒520-0043 大津市中央3丁目1-8 大津第一生命ビル10階
(公財)介護労働安定センター滋賀支部 宛て

- 往信の文面: ①希望日・会場名、②氏名、③生年月日
- ④住所、⑤昼間に連絡が取れる電話番号
- ⑥福祉職の経験の有無
- 返信の宛名面:受講希望者の住所・氏名の記入

(注)お申し込みと同じ方法で「受講決定通知」をお送りします。(届かないときはご連絡ください)

- 4 -

3 (令和4年度新規事業) 業務改善等コーディネーター派遣事業

(1) 目的

介護事業所の業務改善や職場環境改善の取り組みを支援することにより、介護職がより働きやすい職場環境を構築し、介護職員の職場定着を促進することを目的とする。

(2) 実施方法

介護事業所等に、介護職員の定着につながる業務改善の支援を受けたい項目を例示して案内を行い、応募があった事業所から6事業所を選定し、支援項目に見合った専門家を派遣(原則3回)することにより、各事業所の課題解決を図る。

＜支援項目(例)＞

- ① 労務管理(就業規則、賃金体系、人事考課、労働時間等)
- ② 法令実務(雇用契約、コンプライアンス等)
- ③ 職員育成(研修計画、リーダー育成等)
- ④ 職場環境(魅力ある職場づくり、ハラスメント防止、職場のマネジメント等)
- ⑤ ICT (ICTの導入、利活用方法等)
- ⑥ 処遇改善加算等の実務
- ⑦ その他業務効率のために必要な項目

(3) 実施状況

	事業種別	内容	業務改善指導職種
1	訪問系事業所	処遇改善のための就業規則見直し	社会保険労務士
2	有料老人ホーム	労働条件の見直し、業務継続計画(BCP)策定	
3	通所系事業所	キャリアアップのための就業規則見直し	
4	訪問系事業所	労働条件の見直し	
5	老人保健施設	効果的な求人方法、職員定着方策	
6	通所系事業所	処遇改善のための就業規則見直し	

(4) 事業の評価

新規事業であり、事業者が、どのような内容の支援を要望されるか注目していたが、事業者は、ICT関連のような構想や計画的なものより、実際の実務に関する事項について業務改善したいという課題が多かった。現在、事業実施中であるが、完了時には、各事業所の業務改善の成果について、派遣した専門家(社会保険労務士)からの評価を受けて、とりまとめを行う。

(5) 今後の方向性

本年度新たに始めた事業であり、次年度も継続的に実施するが、今回の事業所における業務改善の成果を次回応募の際に改善事例として提供し、事業イメージを持ってもらえるように工夫していきたい。選定する事業所数については、さらに多くの事業所が活用できるように事業の拡充を図る。

4 (令和4年度新規事業) おおつ介護人材確保・定着総合補助金事業

(1) 目的

介護人材の確保や定着のため、職員の処遇改善、職場環境の改善等に取り組む経費に対して、助成を行うことにより、介護サービス事業所等が実施する介護職員の参入促進方策や職員の就労継続に資する方策を支援する。

(2) 内容

令和4年度 おおつ介護人材確保・定着総合補助金

(介護サービス事業所等への補助金等)のお知らせ

市内の介護サービス事業所等での介護に従事する職員の確保、定着を目的として、下記の3つの補助金・給付金を「おおつ介護人材確保・定着総合補助金」として創設しますので概要をお知らせします。

申請手続、様式等に関しましては、市ホームページを参照ください。

1 介護人材確保事業補助金・介護人材定着事業補助金

介護サービス事業所等が新たに人材を確保するために取り組む経費、介護人材の定着のために取り組む経費の一部を補助します。

【補助対象者】 介護サービス事業所等を運営する法人

【補助基準額】 上限額100,000円(1法人各1回限り)

【事業例】 チラシ等に情報を掲載した広告宣伝費、就職情報 Web サイトを利用するための手数料、職員の資質向上のための研修に要する講師謝礼・受講料など

※令和4年4月1日以降の事業(証票等で確認できるものに限る。)を対象とします。

2 就職支援給付金

新たな担い手の確保を目的として、介護サービス事業所等に就職された方に対し、就労継続奨励金を支給し、その後一定期間定着していただいた方に対し、就労定着支援金を支給します。

【補助対象者】 令和4年4月1日から同年12月1日までに、市内の介護サービス事業所等に新たに採用され、勤務を開始した者

【給付基準額】 ①就労継続奨励金 月10,000円/1人(上限6月)

②就労定着支援金 就労継続奨励金の総額/1人

3 介護職キャリアアップ促進給付金

市内の介護サービス事業所等で働きながら介護福祉士の資格を取得し、資格取得後も有資格者として継続勤務している職員への報償として給付金を支給します。

【補助対象者】 介護サービス事業所等に勤務しながら第34回(令和3年度)介護福祉士国家試験に合格し、資格登録日以降、継続して6か月就労している者

【給付基準額】 30,000円/1人

(3) 令和4年度事業実績（令和5年3月8日現在）と評価

- ① 介護人材確保補助金 43 法人 4,093 千円
- ② 介護人材定着補助金 41 法人 3,967 千円
- ③ 就職支援給付金（就労継続奨励金、就労定着支援金） 57 人 6,420 千円
- ④ 介護職キャリアアップ促進給付金 25 人 750 千円

新規事業として10/1に開始（4/1実施分から対象）したが、事業開始当初より事業者からの問い合わせや申請が多く、一定の事業実績があったと考えている。

(4) 今後の方向性

単年度の補助金交付基準により実施した施策であるが、事業実績を踏まえて、次年度以降も現在の事業規模を維持して継続を目指すとともに、介護人材の確保、定着という目的に沿って対象事業の追加や見直し等の検討を行っていきたい。

5 (令和4年度新規事業) 学校向け出前講座事業

(1) 目的

介護職への就職や人材の定着のためには、早期の段階より、介護職の社会的意義の理解や、社会的地位の向上に取り組むことが重要であり、中学校学習指導要領の改訂（家庭科）で、介護など高齢者との関わり方について理解することが規定されたことを契機に、中学生に対して介護の仕事を身近に感じ、興味や関心を持ってもらうため、介護現場で実際に勤務されている介護職員を中学校に外部講師として派遣し、高齢者への接し方や介護の基本的な知識、仕事の魅力などを伝えることを目的とする。

(2) 令和4年度の実施状況

- ① 教育委員会（学校教育課）との協議
- ② 中学校技術・家庭科部会長との協議
- ③ 教育委員会、技術・家庭部会の代表者とのプロジェクト会議（モデル校の選定）
- ④ 中学校から教育委員会（学校教育課）へ申込 → 事業所・施設整備室へ
- ⑤ 講師選定について、大津市社会福祉協議会に相談
- ⑥ 大津市社会福祉協議会施設連絡会において担当施設（講師）の選定
- ⑦ 実施中学校、担当施設、大津市社会福祉協議会、事業所・施設整備室で打ち合わせ
- ⑧ 学校向け出前講座実施
- ⑨ 振り返り

(3) 実施状況

① 仰木中学校

ア 実施日

R4 11/30（水）12/1（木）、12/5（月）、12/8（木）

1年生（5クラス）の家庭科の授業（50分）で実施（12/5は2クラス続けて実施）

イ 会 場

仰木中学校 被服室

ウ 講 師

特別養護老人ホーム 真野しょうぶ苑 各授業2名ずつ 日によって実習生が参加

○入口の案内



○授業風景



② 青山中学校

ア 実施日

R5 1/27 (金)

2年生(5クラス)のキャリア学習(3、4時間目 学年集会形式)として実施

イ 会 場 青山中学校 体育館(武道館も併用)

ウ 講師

特別養護老人ホーム桐生園、特別養護老人ホームアシタバの合同チーム

大津市社会福祉協議会

計 12名

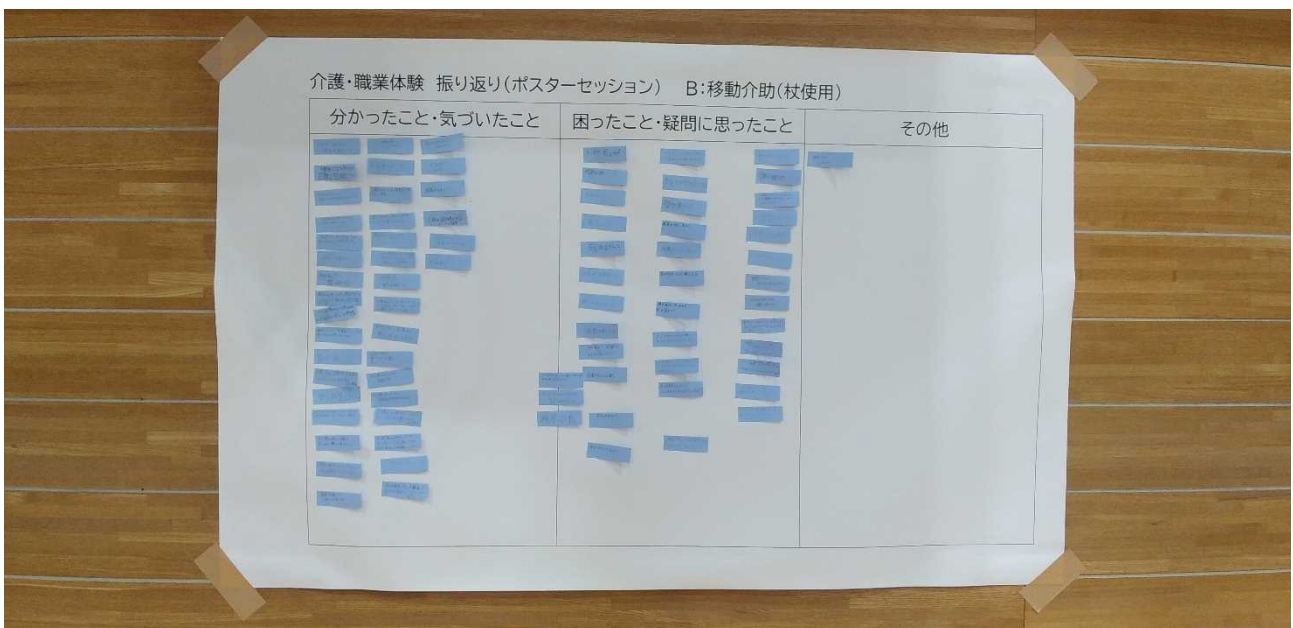
エ 実施内容

5クラス146名を30組（5人1組）に分け、10組1グループが3つの体験（更衣介助、杖歩行、車イス）をローテーションし、生徒がその都度「分かったこと・気づいたこと」、「困ったこと・疑問に思ったこと」、「その他」を付箋に書いて、模造紙に貼付する。最後に介護職員から、「困ったこと・疑問に思ったこと」を中心に正しい介助方法を説明する。

○授業風景



○生徒が体験して困ったこと等を貼付した模造紙



(4) 事業の評価

事業の実施が懸案であったが、教育委員会、中学校、社会福祉協議会、介護施設等、多くの関係者の協力により、新規事業として実施することができた。今後の継続実施を見据えて、中学校の学習指導要領に基づき、教育課程の中で実施することを基本としている。教育委員会の調整で、学校側と充分協議する機会を得られ、学校側の意向を反映することができたと考えている。一方で、施設側が、要望を聞き入れて、柔軟に対応いただいたことでこの枠組みが可能となった。

各学校により、状況が異なるが、今年度は、家庭科の授業でクラスごとに実施した事例と、総合学習として学年集会形式で実施した事例と異なる方式でそれぞれ実施できたことで、結果として、2つの実施モデルの試行につながった。

プロジェクト会議等の実施により、希望する中学校が、教育委員会を通じて学校向け出前講座事業を申込みという事業の仕組みづくりができた。

(5) 今後の方向性

早い世代から介護職に関心を持ってもらうことは重要であり、継続していくことが重要であることから、次年度の事業の方向性について、領域別の技術・家庭科部会（1/13）、中学校校長会（2/22）で説明を行った。

①実施中学校の拡充

令和5年度は、教育委員会の協力で、年度の早い時期から希望する中学校の申込受付を行う。

②授業内容の見直し

中学生にとって、より理解しやすい内容となるように、適宜内容の見直しを行う。

介護人材確保事業 実施計画（第8期計画期間）

資料 2

大目標	中目標	小目標	第8期 大津市高齢者福祉計画・介護保険事業計画（R3～R5）			第9期計画（R6～R8）
			令和3年度 【基盤整備、事業所支援の開始】	令和4年度 【事業の拡充】	令和5年度 【さらなる支援の強化】	
市内の介護事業所に就職する人を増やすことができる取組み	人材を育て、裾野を広げる取組み	仕組みづくり	<p><おおつ介護入門的研修> (R3 6回 R4 6回) 介護の仕事に興味がある方へのきっかけづくりとして開催</p>		<p><おおつ介護入門的研修 (基礎講座3時間)> <おおつ介護入門的研修 (全21時間)></p>	第8期計画期間における取組を検証した上で、事業を拡充し、多様な施策を展開する。
		仕組みづくり	<p>就職面接会(商工労働政策課)への参加</p>	<p>滋賀県介護・福祉人材センターの就職フェア(年3回 大津ブロック)への協力</p>	<p>市独自の介護職の就職フェア(正規、求職等の制限がない方式) → おおつ介護フェスタ内での実施を検討</p>	
	事業所と人材をつなぐ取組み	財政的支援	<p>就職支援給付金(コロナ対策)</p>	<p><(R4新規)介護人材確保・定着総合補助金制度> 1 介護人材確保事業補助金・・・介護事業所等が新たに人材を確保のために取り組む経費 2 介護人材定着事業補助金・・・介護事業所等が介護人材の定着のために取り組む経費 3 就労継続奨励金・・・新たに介護事業所等に就職した者への奨励金 4 就労定着支援金・・・新たに介護事業所等に就職し、一定期間定着した者への支援金 5 介護職キャリアアップ促進給付金・・・働きながら介護福祉士の資格を取得し、継続勤務している者への給付金</p>		
介護職の社会的な重要性を啓発し、介護職の社会的評価を高める活動	三者(事業者、利用者・潜在人材)全方向への訴求	普及・啓発		<p><(R4新規)学校向け出前講座> 介護職の地位向上を図るため、次世代を担う中学生に介護の仕事の重要性や社会的役割を認識できるよう、教育委員会と連携して、中学校に介護現場職員を外部講師として派遣し、体験実習を中心に授業を行う R4 モデル校 (仰木中、青山中)で実施 R5 希望する中学校で実施 (将来的にはすべての中学校を対象)</p>		
					<p><(R5新規)おおつ介護フェスタ> 介護の日(11/11)の前後2週間は、重点的に介護人材確保の啓発をすることされており、関係機関と協力して、介護の仕事に対する理解、魅力発信、就職相談ができる場として市独自のPRイベントを開催する。</p>	
介護現場における負担を軽減する業務効率化の取組を支援	業務効率化対策に対する支援	財政的支援		<p><おおつ介護事業所オンラインセミナー> 事業所の業務改善や人材育成につながるセミナーを開催し、介護人材の定着を図る。 R3 6回 R4 6回(R3の実施後アンケートにより、テーマを再構成して実施) R5 6回を基本 (ICT関係の拡充等、内容を充実)</p>		
				<p><(R4新規)業務改善コーディネーター派遣事業> 介護人材の定着に係る事業所の課題に対して専門家を派遣し、働き続けられる職場づくりを支援する。 R4 6事業者 R5 対象事業者拡充</p>		

介護人材確保対策事業

令和5年度新規事業 おおつ介護フェスタの開催について

1 目的

国では、「介護の日」の前後2週間を「福祉人材確保重点実施期間」として、「様々な啓発活動を行っていただくよう協力願いたい」と自治体に対して周知がされている。また、市内の関係団体からも介護に興味関心が持てるイベントの開催について期待されているところである。介護人材確保対策事業においては、介護の仕事のPRにつながる取り組みをさらに推進していく必要があることから、関係機関と協力し、介護の仕事に対する理解、魅力発信、就職相談ができる場として、新たなイベント「おおつ介護フェスタ」を開催し、介護、及び介護職に対する関心を高め、広く情報発信することを目的とする。

2 実施イメージ (案)

- (1) 開催日時 令和5年11月18日(土) 10:00~15:00
- (2) 開催場所 ブランチ大津京 三角ひろば(大津市二本松1-1)ほか
- (3) 実施方式 各関係団体からの委員で構成する実行委員会方式
- (4) 内容
ブーステント設置、ステージ企画、パネル展示、出店誘致、集客用遊具、
コラボイベント 等
- (5) 広報手段
市広報、ブランチ大津京による広報、関係機関の協力による広報、SNS、フリーペーパー、BBC、FM 滋賀等の活用 等

3 スケジュール (案)

令和5年 4月	おおつ介護フェスタ実行委員会発足
4月~9月	事業内容の企画立案、検討
9月	実施内容確定
10月~当日	実施準備、広報
11月~	事業の振り返り